

「今後の仕事と育児・介護の両立支援に関する研究会」ヒアリング



NPO法人となりのかいご
代表 川内潤

©NPO法人となりのかいご

代表者の経歴

川内 潤 社会福祉士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護福祉士
厚労省『令和4年中小企業育児・介護休業等推進支援事業』検討委員

介護の仕事をする両親の元で育つ
器械体操中の怪我による
車椅子生活の経験から福祉の世界に目覚める

外資系コンサルティング会社へ転職
ヘルスケア業界のコンサルティング業務に従事

2002

2004

上智大学文学部社会福祉学科在学中
老人ホーム紹介サービス事業を立ち上げ

2006

2008

2012

介護会社にて**介護スタッフ**として修行
訪問入浴、認知デイ、老人ホームでの介護現場
を経験 **家族介護の難しさに直面**

「となりのかいご設立」
高齢者虐待問題に取り組む

社会福祉法人本部職員の傍ら
介護セミナー・個別相談を開始

企業内介護セミナーの開催

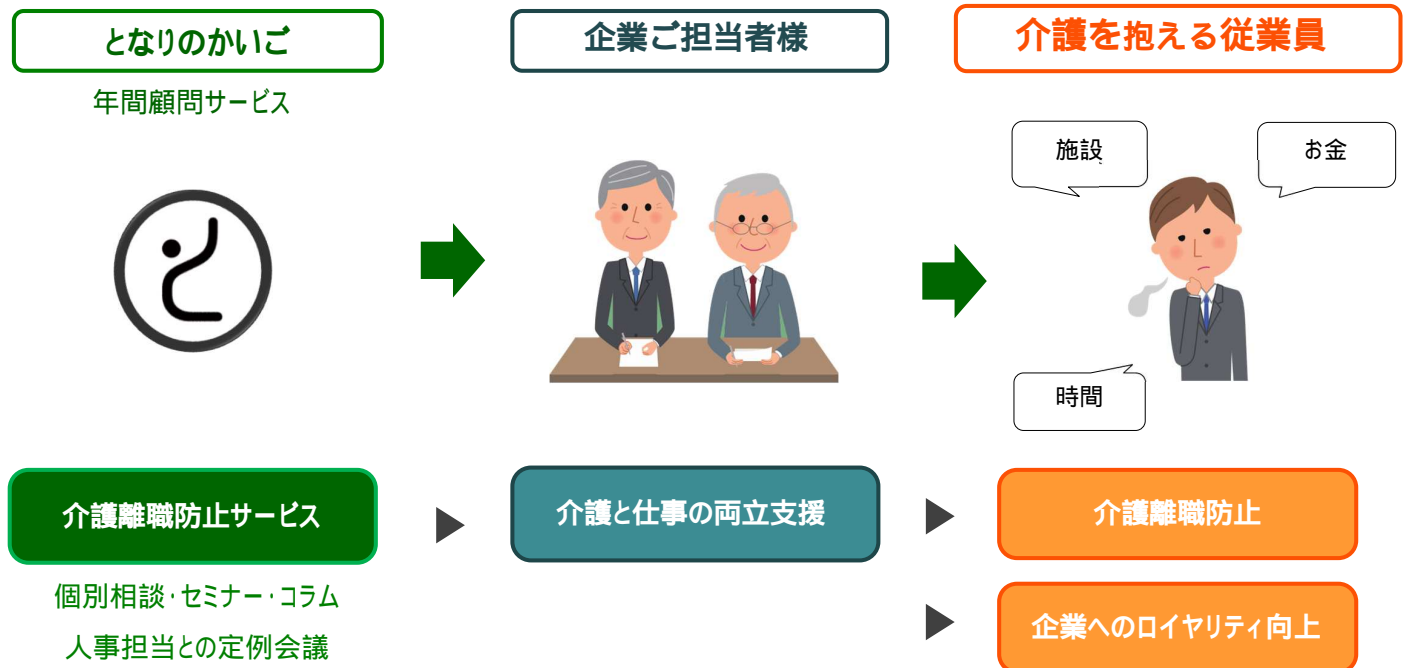
企業内での介護と仕事の両立に関する個別相談

書籍やラジオなどでの情報発信

©NPO法人となりのかいご

2

法人向けサービスについて



家族による高齢者虐待防止事業として展開

3

2,000件を超える介護相談から分かったこと

デイサービスの送迎があるための短時間勤務が必要

認知症で目が離せず見守りのためのテレワーク勤務

サービスを利用拒否して家族が近くにいないといけない

老人ホームに入居できず家族で介護せざるを得ない

真のニーズ：家族の老いや死に対する不安

企業内で真のニーズを捉えた支援が必要

親が元気なうちの相談が重要

息子が懸命に支えた結果、、、

[Aさんの行動]

母も嫌がるし
安く済ませるために
まず家族でやってみる

交通費を節約のため
実家でテレワーク

何でも聞いてくるので
仕事に集中できない

夜間に仕事し
心身を崩す

入居金500万円
月額20万円

有料老人ホームへ

息子が来る
回数が増え安心

平日も息子がいるので
なんでも息子に聞く

デイサービスには
行きたくない
知らない人が怖い

息子に話かけると
怒鳴り返され
更に不安に

[高齢の母の気持ち]



親が元気なうちの相談が重要

最初から地域包括支援センターを頼ると、、、

[Bさんの行動]

地域包括支援センターに状況相談

随時、状況を共有「財布が見当たらない」などの事など

介護認定の申請とデイサービスの契約をし母のサポートを任せる

公立の老人ホーム申込み

母自身の年金で支払える老人ホームへ



生活を心配してくれる人が訪問してくれる

「掃除を手伝わせて」と言われ無下に断れずお願いすることに

編み物先生を依頼され出かける事に

宿泊時の食事の準備片付けがありがたい

[高齢の母の気持ち]



ポイントは早期の「相談」と「連携」

苦勞することが良い介護とは限らない

[Bさんの行動]

地域包括支援センターに状況相談

随時、状況を共有「財布が見当たらない」などの事など

介護認定の申請とデイサービスの契約をし母のサポートを任せる

公立の老人ホーム申込み

「プロ」に頼る早さが大事に



生活を心配してくれる人が訪問してくれる

「掃除を手伝わせて」と言われることもありお願いすることに

編み物先生を依頼され出かける事に

宿泊時の食事の準備片付けがありがたい

[高齢の母の気持ち]



「親が元気なうちが成功のカギ」と繰り返し発信

セミナーコンテンツ例：介護相談で出会った介護の誤解

誤解1：まだ親が元気だから介護のことは考えなくていい

トラブルが起きてからの対応では後手になり離職リスクが高くなる

誤解2：直接介護することは親孝行になる

介護のプロであっても、自身の家族を介護するのは難しい

誤解3：介護離職した人は、辞めざるを得ない状況だった

早めの相談をしていれば、間違いなく離職を防ぐことができる

誤解4：地域包括支援センターは介護が必要になってから

元気なうちからの連絡で、いざとなった時にスムーズな支援を受けられる

誤解5：テレワークは仕事と介護の両立に有効である

要介護者の依存を引き出し、介護状態が促進されてしまう

8

セミナーコンテンツ例：呼び寄せたロールプレイ

ある日曜夕方、妻、長男不在の中…

東京は便利で住みやすいよね

と話しかけてスタート

【困ったときのキーワード】

- ・一人じゃ寂しいでしょ
- ・家に帰っても誰もいないよ
- ・いま出ていくと危ないよ
- ・父さんは、寂しかったと思うけど、母さんにはそんな思いはさせないから
- ・俺にも親孝行させてくれよ
- ・母さんのためを思って言ってるんだ



このあと、
「帰りたい」
と言う母を
全力で説得
してください！

～ 息子役以外の皆様～

あなたならどう説得しますか？

9

セミナーコンテンツ例：呼び寄せたロールプレイ

● 感情的に拒否している母を説得するのは難しい

● 呼び寄せる前に、母の地元のサポートに頼ることが必要

たった5分でもこんなに辛いやり取りが続くと…

- ・徘徊
 - ・ヤングケアラー
- などの問題に発展することも…



介護、家族の「**あるべき論**」に振り回されないことが大切

考え方に変化はありましたか？

「**早めに介護の準備をしなくちゃ**」

でも、それ本当にできますか？



まずは、生活の中でお互いの**思い**や**価値観**を共有することを意識してみましょう

コツや
ポイントは
千差万別

▶ **個別性が高いので、ひとりで考え込まず 相談 を**

10

介護休暇・休業の有効な活用方法

フェーズ	フェーズ1 初期体制構築	フェーズ2 体制強化	フェーズ3 安定	フェーズ4 看取り
介護の状況	要介護状態が発覚	日常生活の一部に手助けが必要	日常生活の全般に手助けが必要	食事量の急低下、 血圧低下、呼吸苦 継続的な高熱
タスク	介護保険申請 ケアマネ選びなど	状況に応じ メンテナンス ケアマネとの信頼構築	状況に応じ メンテナンス 老人ホーム探し・入居	看取り体制の構築
制度活用例	訪問調査同席 (<u>半日～1日</u>) ケアマネ初回相談 (<u>半日～1日</u>) ケアカンファレンス出席 (<u>半日～1日</u>)	ケアカンファレンス出席 (<u>半日～1日</u>) デイサービス・ショート ステイ見学 (<u>2～3日</u>) サービス利用拒否の 急遽帰宅の対応 (<u>2週間</u>)	ケアカンファレンス出席 (<u>半日～1日</u>) 老人ホーム見学 (<u>2～3日程度</u>)	家族と最期の時間を 過ごす (<u>1週間～1ヶ月</u>)

適切な情報収集ができれば
少ない日数の休暇・休業で
十分対応が可能！！

©NPO法人となりのかいご

在宅勤務（テレワーク）は活用
方法に要注意

11

テレワークを活用した家族介護の実態

コロナの影響が出始めた2020年3月末からリモートで行ってきた約1,700件の介護相談から

1日20回以上トイレに付き添わなければならない

一人でもトイレに行くことができるが、頼れる家族がいることで声がかかる

ウェブ会議に何度も乱入されてしまう

しっかり説明をしても、張り紙をしても効果がない

何度も呼ばれるのでまとまった仕事は深夜作業

呼ばれるたびにかけるけるのは効率が悪いので、親がいるリビングで仕事

どのケースも家族の見守りなく支援できるケースであった